

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	23021
課題名	「赤ちゃんにやさしい病院」で帝王切開時の早期母子接触を導入したことによる効果
研究期間	西暦 2023 年 5 月 25 日 (実施許可日) ～ 2023 年 12 月 31 日
研究の対象	対象：1)2020 年 1 月～2021 年 8 月までに予定帝王切開にて出産した母子 50 組程度 2)2021 年 9 月～2023 年 3 月 31 日に予定帝王切開にて出産した母子 50 組程度 除外基準：1) 多胎妊娠、無痛分娩、てんかん・精神疾患合併・既往、乳癌術後、完全ミルク希望、授乳禁忌 2) 早産児、出生体重 2500 グラム未満、光線療法以外の治療を受けた児、母子異室
利用する試料・情報の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 診療情報 (詳細：年齢、初経産、妊娠週数、出血量、児の出生・退院時・産後健診時の体重、手術記録、産後の分娩の振り返りの記録、退院時と産後健診時の児の栄養方法、産後健診の育児支援チェックリスト・エジンバラ産後うつ病質問票・赤ちゃんへの気持ち質問票の得点等) <input type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織 (対象臓器等名： ) <input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> その他 ( )
試料・情報の管理について責任を有する者	旭川医科大学 学長 西川 祐司
研究の意義、目的	旭川医科大学病院周産母子センターはユニセフと WHO が作成した「母乳育児成功のための 10 か条/母乳育児がうまくいくための 10 のステップ」に沿って母乳育児支援を行っており「赤ちゃんにやさしい病院」に認定されています。 早期母子接触は母子にとって必要不可欠な関わりであり母子の当然の権利といわれています。正期産児に限らず、また経膈分娩時のみでなく帝王切開時にも実施することが推奨されてることから、今回多職種と連携しながら帝王切開時の早期母子接触を導入しました。 本研究では帝王切開時の早期母子接触が母子にもたらした効果を明らかにすることを目的としています。
研究の方法	電子カルテから患者さんの基本情報(年齢、初経産、妊娠週数、術中出血量、児の出生体重)、手術中の記録や出産の記録より早期母子接触の実施状況、出産の振り返りの記録より患者さんの感想を収集します。また、退院時や産後健診での児の体重や栄養方法、産後健診で行う育児やお母さんの気持ちに関する

	アンケート結果も確認します。
その他	
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>研究への利用を拒否する場合の連絡先：研究責任者を参照  研究責任者：  旭川医科大学病院 4階東病棟 助産師 大原 彩歌  0166-69-3740</p>